2025年8月28日発行発行

衆議院議員 佐々木ナオミ 〒250-0875

小田原市南鴨宮3-6-13 天野ビル1F西

phone.0465-46-6831 fax. 0465-46-6857 https://naomi-sasaki.com/

No.08



戦後80年節目の年、改めて核廃絶について考える

戦後80年の今年、私が市議時代から毎年参加し、途中からは実行委員としてかかわってきた小田原の「8月15日を考える会」第18回目の集いを仲間と共に開催しました。ここ数年、ウクライナやガザでの戦闘が激化し、核保有国が『核の傘の拡大』を声高に叫び、先日の参院

選では公党の候補者が『核武装は 安上がり』とまで発言する中、今 年の講演のテーマは、ズバリ!「核 兵器廃絶への道」。長崎大学核兵器 廃絶センター准教授の中村桂子氏 を講師に迎え、会場は定員いっぱ いで、皆様の平和への熱い思いを 感じました。



核廃絶へは一歩ずつ階段を登っていく

「希望を捨てる必要はない!」との言葉で始まり、核兵器の今の状況と廃絶までの道のりを、わかりやすくお話ししてくださいました。現在世界 196 カ国中、核兵器保有国は9 か国。世界に存在する核弾頭は約1万2千発、冷戦時代の7万発から大幅に減っているものの、質の面では軍拡が進み、小型で超高速の高性能になっている。核兵器のほとんどはアメリカ、ロシアが保有していますが、それ以外の保有国の核が近年増えているという報告もあります。

「核抑止」の虚構と核保有のコスト

核保有国の安全保障は危険な核兵器を互いに持ちながら睨みあっている状態。その緊張関係は、いつ何時どんな偶発的なきっかけで均衡が崩れ、核戦争になるやもしれない危険性を常にはらんでいる。過去にも、一触即発の危険な事例はあったが、幸いにもそれを乗り越えてきているのが実情で、私たちは、核兵器がいつ使われてもおかしくない世界に生きている。

一方で核武装は決して、安上がり、などということはなく、核兵器の老朽化、核実験による被害なども深刻な問題です。人知れず、地球上の人口過疎なエリアで、住民の犠牲の上に、戦後実に 2000 回も行われてきた核実

験。核兵器のある世界は、常に社会的弱者の犠牲の上に しか成立していないんだ、ということを、あらためて認 識しました。

核兵器禁止条約の人道的アプローチ

核なき世界を作るためには、核を持たない国や市民社

会が主導して、核兵器に対する「世界の常識を変える」ことです。核兵器禁止条約には、すでに94カ国が署名、

73 カ国が批准。「核兵器を持つことは恥」「核兵器で人々の平和は守れない」「一発の核爆発でも壊滅的な被害をもたらす」という常識を広めていく「人道的アプローチ」がじわじわと効いてくる。

かつて使われていた生物兵器 も、対人地雷も、「人道的な視点」 から禁止され、その使用は国際



的な犯罪行為として非難されるまでになっています。同 じ歩みを、核兵器に対しても作っていくことができるは ずだとの言葉に、私も勇気をいただきました。

日本は核禁条約締約国会議に オブザーバー参加を!

唯一の戦争被爆国である我が国はいまだに条約を批准 していませんが、せめて、締約国会議へオブザーバー参 加を今こそ実現すべきです。昨年ノーベル平和賞を受賞

した日本被団協が 石破首相にオブ ザーバー参加を要 請したとのニュー スは記憶に新しい ところです。長崎



の平和式典では、「長崎を最後の被爆地に」と語った石破首相。戦後80年の節目の年にこの国のリーダーの責任として、実現へ向けての決断をしてほしい。そのために、私も国会でしっかりと活動をしていきたいと思います。

第9回アフリカ開発会議(TICAD9) パシフィコ横浜へ!

危機状況下における教育支援とジェンダー平等」の テーマ別イベントに参加してきました。

基調講演には残念ながら間に合いませんでしたが、パ ネルディスカッションでは、教育支援に特化した国際基 金である ECW の取り組みや、課題を共有。日本政府か らも拠出金が予算として出されています。

ナイジェリアでは、安心して教育を受けれる環境では なく、さらに女子に関しては、学校への距離が遠すぎる ことや、教育の必要性への理解が少ない。教師の育成に

も力を入れなければならな いし、安全な教育環境の整 備も必要。そのための経済 支援がまだまだ足りていま せん。

外国への支援に、批判が出 るような現状ですが、国際 支援は、平和構築という意

味でも、私たちのための取り組みでもあります。

この学びを、次の活動へ活かしていきます。



























































地元事務所のご案内



国会事務所

〒100-8982 千代田区永田町 2-1-2 衆議院第二議員会館 611 号室 phone. 03-3508-7427 fax. 03-3508-3907







公式 LINE